

令和2年12月25日金曜日 2学期終業式

私は1学期後半から2学期にかけて皆さんのクラスに入り授業を参観しました。皆さんや教科担任には迷惑をおかけしました。ここでお礼を申し上げます。皆さんの学習態度には感心しました。感動といってもいいかもしれません。学習に全集中し内容をしっかり自身の力にしようと頑張っている姿が見られました。中には下を向いている生徒もいたりはしましたが全体的に好ましい態度でした。また、先生たちの授業展開はわかりやすく内容もしっかり理解しやすいよう工夫されています。皆さんはこれからも浦添高校を信じて自身の夢実現につなげてください。特に取り上げておきたいこともあります。音楽と1年生女子の体育の授業です。規律のある行動や態度が印象的でした。何といっても皆で活動することに本当に楽しそうに見えました。

本日は令和2年度2学期終業式です。今回の集会も校内放送を通して行うことになりました。感染症に打ち勝つためです。皆さんはこの1年間活動をずっと制約されてきました。4月から学校閉鎖があり、その後解除され皆さんの登校してきたときの様子が脳裏に浮かびます。あの時は本当に感動しました。今後もどうなるかはまだわかりませんが、皆さんはこのマイナスの状況を自分の力でプラスへと変えてください。皆さんが20年後、有名人になり、「あなたはどのようにしてそんなに力強い人間なんですか？」と報道陣に質問されたときに「私の高校時代には感染症がはやりました。臨時休校、入学式の延期、学校行事や大会等の中止があつて、それでも腐らずに頑張つて、頑張つて、今があります。」と言える時がきっと来ると信じています。

ここで一つ紹介したいことがあります。

12月龍谷富山高校の校長から電話がありました。我々は昨年度3月2学年で沖縄県に修学旅行に行く予定でした。ところが感染症流行のため1年間延期して今年度2月同じメンバーの3学年で修学旅行に行くことにしました。それでも感染症の流行は治まらず涙を吞んで今年度も中止としました。沖縄に行った際は、生徒の作った「千羽鶴」を平和記念公園へ奉納すること、「首里城復興への義援金」を沖縄県庁へ持参することも日程に入っていました。この両方とも叶わないとなったので、郵送や振り込みを考えました。しかし生徒の熱意は収まらず、「沖縄県の高校生に託してみてもどうか」という意見が出て、その中で浦添高校の名前が上がり、浦添高校生に託すことになりました。龍谷富山高校の校長からは浦添高校の生徒に是非依頼できないですかという内容でした。そこで本校生徒2年生大城久周（オオシロヒマリ）さん、長浜千穂（ナガハマチホ）さん、田港玲麗（タミナトレイリ）さん3人が12月17日木曜日、龍谷富山高校3年生の熱い思いを平和記念公園と県庁へ伝えてきました。このことは是非皆さんの心に留めこれからも語り伝えるべきだと思いここに紹介しました。